

第3回 市長と話そうの様子

開催日時	令和7年5月10日(土) 13:30 ~ 14:50	場所	大分県漁業協同組合臼杵支店2階 会議室
団体名	大分県漁業協同組合青年部臼杵支部		
団体概要	沿岸漁業の新しい知識と技術を身につけ、部員相互の交流を深めて沿岸漁業の発展に寄与することを目的とし、「研究会および講習会の開催」や「技術の交流事業」、「調査研究事項の実践」や「他青年部グループとの親睦と交流活動」を行う組織。臼杵市内に在住し、かつ漁業後継者となり得る漁村育壮年をもって構成される。		
話し合いのテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臼杵の漁業の現状について ・ 漁業の担い手育成について ・ 漁業の活性化について 		
参加者	19名(団体メンバー18名、西岡市長)		

対話の様子

対話では、『臼杵の漁業の現状について』、『漁業の担い手育成について』、『漁業の活性化について』をテーマに活発な意見交換が行われました。
参加者からは、以下のようなご意見がありました。

- ・ 漁獲高が最盛期と比較して減少している中、燃油や餌、資材などの価格が高騰しており、厳しい現状がある。
- ・ 温暖化による海水温の上昇や海藻を食べるウニや魚の増殖等により、藻場の衰退が進んでおり、数年前から岩盤清掃と藻場育成に取り組んでいる。
- ・ 令和5年度に若手漁業者を対象に事業継続に必要な漁具等の購入に対する支援をしていただき、大変感謝している。
- ・ 昨年度、青年部で保育園に出向いて魚食普及活動(さばき方教室、タッチプール他)を行った。
- ・ 臼杵には直売所みたいところがほとんど無い。愛媛県八幡浜市の道の駅「みなと八幡浜」のような感じのものができればいいなと思っている。
- ・ 青年部は臼杵の各港の若手が揃っており、そのメンバーが繋がって活動することで臼杵の漁業の活性化につながるものと考えている。今以上のことができるよう、行政にもご協力いただきたい。

市長からは、以下のような話がありました。

- ・ 臼杵市がユネスコ創造都市ネットワークの食文化部門に加盟認定され、これから食でPRしていこうとする中で、漁業は重要な要素の1つである。
- ・ これからの臼杵の漁業を担っていただく青年部の皆さんと直接話ができよかった。若手の皆さんが今後も漁業をしっかりと続けていくことができ、後に続く人が出てくるようにすることが重要。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。“市長と話そう”では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます！

